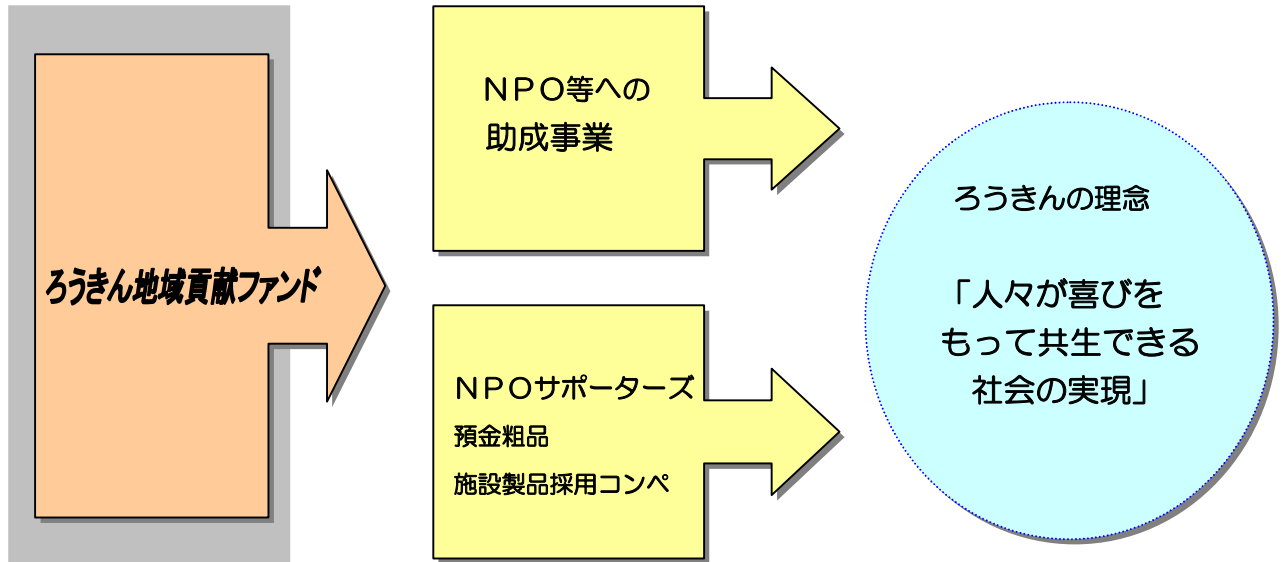


「ろうきん地域貢献ファンド」2009 応募要項



ろうきんの理念「会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」に基づき、「NPOの活動をより大きく広げ」、「労働者をはじめ様々な市民がボランティアとして参加する」ことのできる事業を応援するために、以下の通り助成を行います。

NPO等への助成事業

1 宮城県内に所在する団体の以下の分野の活動を対象とします

- (1) 福祉
- (2) 子ども・文化・スポーツ
- (3) 環境保全
- (4) まちづくり
- (5) 国際協力
- (6) 人権・平和・男女共同参画

2 重視する活動や事業

以下のような活動や事業を特に重視します。

- (1) はたらく人やシニアが、それぞれの経験を活かして参加できるもの
- (2) 自らの地域をより良くするために、さまざまな住民がボランティアとして参加できるもの
- (3) 地域のさまざまな団体が連携・協働して参加するもの

3 助成総額

助成総額は、2009年6月末までに「NPO寄付システム」および社会貢献定期預金「NPOサポーターズ」に集まった寄付金と、東北労働金庫宮城県本部が拠出する150万円とします。

4 助成期間

原則として、2010年3月末までに終了する事業を対象とします。※ただし、助成決定後に事業の大半が実施されること。

5. 応募条件

- (1) 「みやぎNPO情報ライブラリー」に2009年7月31日（金）までに登録し、活動の情報を将来にわたって積極的に公開できること。2010年3月までに助成金を活用できること。すでに登録済の団体については、最新の情報に更新されていること。
- (2) 活動を始めて一年以上が経過し、一定の社会的成果を生んでいること。
- (3) 所定の事業報告書を2010年4月末日までに提出できること。

「みやぎNPO情報ライブラリー」について

NPOや市民活動団体が、多くの人々に認知され、地域社会との連携を深めていくためには、自分たちの活動の情報を積極的に公開していくことが大切です。そのため、せんだい・みやぎNPOセンターでは、NPO・市民活動団体の皆さんから活動に関する情報をお預かりして、地域の市民・企業など社会一般に広く公開・発信する支援事業「みやぎNPO情報ライブラリー」を運営しています。

「みやぎNPO情報ライブラリー」に登録いただいた情報は、団体ごとにファイリングされ、せんだい・みやぎNPOセンター内で公開されるほか、団体の基本情報は「公益ポータルサイトみんな（<http://minmin.canpan.info/>）」において、広く一般に公開されます。

「ろうきん地域貢献ファンド」はせんだい・みやぎNPOセンターが運営する「地域貢献サポートファンドみんな（みんなファンドの冠ファンド）」の仕組みを活用して、資金提供を行っています。「ろうきん地域貢献ファンド」の助成を受ける場合、各団体は「みやぎNPO情報ライブラリー」に登録し、情報の公開に努めるという条件がついています。したがってご応募いただく際には、助成申請書とともに、以下の書類をご提出下さい。ご提出していただいた書類については、電子データでいただく場合がございますので、かならずお手元に保存しておいて下さい。

なお、みやぎNPO情報ライブラリーへすでに登録されている団体で、最新の情報に更新されている団体は、提出不要です。御確認のため、事前にせんだい・みやぎNPOセンターまで御連絡下さい。

みやぎNPO情報ライブラリー提出書類一覧（*は必須）

- * みやぎNPO情報ライブラリー登録申請書

- * NPO 情報ライブラリー情報提供フォーム
- * 団体の定款・規約など運営方法を記した書類
- * 団体の役員、運営委員、世話人など、直接運営を担うメンバーの名簿
- * 前々年度の事業報告書・決算書（収支計算書、貸借対照表、財産目録）
- * 前年度の事業報告書・決算書（収支計算書、貸借対照表、財産目録）
- * 当年度事業計画書・収支予算書
- 会報・ニュースレター
- 団体パンフレット
- イベントなどのPR チラシなど

※NPO 法人で、事業報告書・決算書について、所轄庁に提出している書類と総会にかけている書類とが異なる場合（所轄庁に提出している書類が、所轄庁が提供している見本に沿っているもの場合）、総会にかけている書類の方をご提出ください。

6. 助成コース

以下の2コースの助成を行います。

応募は1 団体あたり、どちらかのコースに1 つまでとします。

【Aコース】 企画事業・組織開発助成コース

助成額 10～30万円（1 万円単位）

助成率 総事業費の 75%以内。総事業費の 25%以上の自己資金（団体負担金、参加費など）が必要です。

助成団体 3～5 団体程度（各団体の助成額により変動します）

企画事業または内部の組織開発に対する助成を行います。

（助成対象事業の一例）

- ・ 団塊の世代を中心とした市民が団体の活動を体験できる「受け入れプログラム」の提供
- ・ 多くの市民がボランティアとして役割を持って参加できる「イベント」の開催
- ・ 複数の団体が協働して行う企画事業など
- ・ 組織内部の課題を把握し、その解決を図ることを目的に行う事業

助成対象経費 事業に必要な直接経費

人件費（支出総額の 20%以下）

※但し、団体に日常的にかかる経費（家賃・水道光熱費、電話代などの管理費等）、および飲食にかかる経費は不可

【Bコース】 備品購入応援コース

助成額 上限 10万円（備品購入に不足する分は自己資金で充当して下さい）

助成団体 5 団体程度

団体の活動の特徴に深く関わる備品等の購入費用を補助する助成を行います。応募書類には、メーカーカタログのコピー（メーカーのウェブサイトから印刷しても可）および見積書を必ず添付して下さい。

7. 選考方法など

選考方法 選考委員会による書類審査で助成団体を決定します。

選考基準

（Aコース）

- （1）必要性：地域社会のニーズや課題、または組織課題をどの程度的確に捉えたものであるか。さらに、応募事業がそれを解決するのにどの程度有効であるか。
- （2）参加性：募集要項2の【重視する活動や事業】にどの程度合致しているか。
- （3）成果目標・発展可能性：成果目標の設定の仕方が適正かどうか。また、助成を受けた後、活動の質が向上し、発展する見込みがあるか。
- （4）地域貢献性：住みよい地域を実現するものであるか。
- （5）実現性：企画の意図や内容を実現するために、人的・物的（モノ、カネ）資源や実施計画がどの程度整っているか。
- （6）情報公開性：団体の活動や収支の状況をどの程度社会に公開しているか。

（Bコース）

- （1）地域貢献性：住みよい地域を実現するものであるか。
- （2）必要性：団体の活動にとって、その備品を購入する必要性がどの程度明確に提示されているか。
- （3）適正性：購入備品の価格や性能の適正性がどの程度明確に提示されているか。
- （4）発展性：購入した備品により団体の活動や事業の発展があり波及効果が予想されるものであるか。
- （5）情報公開性：団体の活動や収支の状況をどの程度社会に公開しているか。

8. スケジュール

（1）応募期間

2009年7月1日（水）～2009年7月31日（金）

（2）個別応募相談会

2009年7月10日（金）13：00～19：00

21日（水）10：00～18：00

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

予約制・1団体につき1時間以内

※書類に不備がありますと申請受付できませんので、募集要項を読んでご不明に思われる点など、お気軽に応募相談会の機会をご利用下さい。

(3) 書類審査委員会

2009年8月19日(水) 予定 *合否については、決定後速やかに通知いたします。

*場所は東北労働金庫 9階大会議室

9 応募について

(1) 応募方法

必要事項を記入した助成申請書につきましては、みやぎNPO情報ライブラリーの登録書類とともに、2009年7月31日(金)【当日消印有効】までに、郵便または宅配便にて下記宛てにお送り下さい。なお、事務局へのご持参、ファクス、メール、メール便(投函記録のないもの)による応募は受け付けておりません。

10 応募・お問い合わせ先

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
ろうきん地域貢献ファンド事務局 (担当: 谷口)
〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
TEL 022-264-1281 FAX 022-264-1209
E-mail fund@minmin.org <http://www.minmin.org/sss>